

2017 (H29) 年度下半期は、宗像の元気を日本へ、世界へ発信しました。

●ユネスコ世界遺産委員会 (ポーランド)

●第37回全国豊かな海づくり大会



宗像を元気にしタイ!



福岡県議会議員 伊豆みさこ



決定前、各国のユネスコ大使に説明活動が続ける



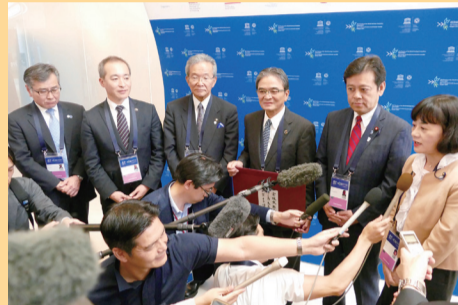
第37回全国豊かな海づくり大会式典 (宗像ユリックス)



ポーランド・クラコフ 現地、マンガ館にて折鶴を渡す



両陛下に沖ノ島出土の遺物を説明する葦津宮司



決定後、ポーランドの会場でマスコミの取材に応える



豊かな海づくり大会前に完成した上八環状交差点

明日の宗像づくりのために「離島振興、道路・河川の整備、子育て」

◎引き続き、「しつこく、くどく」継続要望している事業

県営大島団地の全面的改善工事の実施

県営住宅大島団地は、昭和46年に建設され、その後、平成8年に耐震改修工事、平成12年にエレベーター設置や外壁改修工事が実施されています。

今回の工事では、住宅の耐久性・居住性の向上を図るため、老朽化した内外装の改修や浴室・流し台などの設備機器の更新など、全面的な改善工事を行うほか、一部の住戸を改造して、子育て世代のニーズに対応した従前より広い住戸の整備も予定されています。工事は平成30年度に着手予定で、

地島小学校裏山の危険個所対策の整備促進

地島小学校は地島唯一の小学校であり、災害時には体育館が住民の指定避難所になっています。しかし、校舎北側の法面は集中豪雨が続き、崩壊の危険性が懸念され、児童・生徒はもちろん、住民の安全確保のため急傾斜地崩壊対策事業が実施されています。平成30年度には用地を取得し工事に着手する予定です。早期完成に向けた整備促進を望みます。

県道畦町村山田線の整備促進

本路線は、福津市畦町村を起点とし、福津市八並で国道3号に接続し、宗像市村山田の県道福岡宗像玄海線(旧国道3号)を終点とする県道です。現道の道幅は狭く、特にJR線路をくぐる箇所は、幅・高さともに狭く、離合ができない状況です。

県道畦町村山田線道路改良事業では、新たなバイパスの整備により、JR線路下の交通の支障を解消し、互さらには「宗像・沖ノ島と関連遺産群」や「道の駅むなかた」へのアクセスの向上を図るものです。また、この事業により、沿線地域の利便性の向上や交通安全の確保が図られるとともに、宗像市を訪れる観光客の増加も期待されます。

現在、主にJR交差点部の協議を進め、詳細な設計が行われており、また、関連箇所(現道木ノ下橋の架替え)については、一部工事に着手されているところです。早期完成に向けた整備促進を望みます。

都市計画道路宗像福岡線(東郷駅周辺)の整備促進

本路線は、宗像市西部の地域拠点と位置付けられている東郷駅周辺の交通混雑緩和を図るうえで非常に重要な路線です。

現在、平成30年度完成を目指して宗像市施工による東郷駅北口駅前広場及び東郷駅前線整備が進んでいます。この路線は宗像大社の玄関口である東郷駅宗像大社口(旧名・北口)と八並川の左岸(北側)側を通り田熊交差点とを接続する路線であり、東郷駅へのアクセスの

都市計画道路宗像福岡線(赤間駅周辺)の整備促進

本路線は、赤間駅北側を東西に走る重要な幹線道路です。赤間駅周辺は宗像市の中心拠点として位置付けられ、また周辺地域は住宅地として人口が増加し、さらに大型店舗の進出などで周辺地域では渋滞が日常化しています。

平成23年度には「赤間駅北口土地区画整理事業」も完成していることから、接道している当該道路の早期完成に向けて、一層の事業促進を望みます。

県道岡垣宗像線の整備促進

本路線は、岡垣町糠塚の国道495号を起点とし、宗像市吉留の主要地方道・県道直方宗像線を終点とする県道です。終点部の吉武地区には、「八所宮」、「正助ふるさと村」、「グロバルアリーナ」などが立地し、多くの観光客や施設利用者が訪れています。

しかしながら、現道は道幅が狭く、離合が困難なうえに、歩道がなく、通学児童の安全が確保されていない状況です。

県道岡垣宗像線(吉留工区)道路改良事業では、市道を活用したバイパス整備により、本県道唯一の未改良区間を解消し、交通の円滑化及び交通安全の確保を図るものです。現在、用地買収に係る調査が実施

県道玄海田島福岡線の整備促進

本路線は、国道495号瀬戸交差点より県内屈指の漁獲高を誇る鐘崎漁港方面へアクセスする重要な路線でありながら、道路幅員が狭小であるため、大型車同士の離合に支障を来しています。また、玄海東小学校、玄海中学校の通学路でもありますが、歩道が十分に整備されていないために歩行者に対して安全性が確保されていない状態です。

現在、事業が進められており、早期完成に向けた整備促進を望みます。

山田川改修事業の促進要望

本河川流域では、住宅開発等により河川への負担も大きくなり、また近年のゲリラ豪雨の際には、浸水被害等も発生しており、これに対応すべき河川の整備が必要となります。そこでこれまでに多礼(須恵橋間)において河川整備が進捗中です。

平成29年度は、溝越堰の下部工事及び城西橋下流の護岸工事に着手されています。今後一層の事業促進を望みます。

宗像児童相談所の建設工事に着手

宗像児童相談所については、平成30年度中の完成を目指して、現宗像総合庁舎敷地内での建設工事が進んでおります。新たに一時保護所が併設され、少人数の居室や相談室が複数設けられるなど、児童の安全確保や保護者に対する相談援助活動の充実が図られます。平成28年度中に全国の児童相談

所が対応した児童虐待相談件数は十二万件を超え、本県においても、政令市を含めた相談対応件数は四、一九四件と過去最高を更新しています。

これは、警察からの通告や全国共通ダイヤル「189(いちばやく)」の広報による通告が増加したことによるものです。

「189」の周知広報や児童相談所の早期設置について県議会でも再三にわたり要望してきました。新しい宗像児童相談所の完成が待たれるところです。

【宗像児童相談所完成予想図】



主要地方道若宮玄海線の事業化要望

本路線は、玄海ニュータウン地区や公園通り地区など住宅地区と、市の中心拠点である赤間駅周辺を結ぶ重要な道路であり、沿線にはふれあいの森運動公園などがあることから、近年自動車の通行量とともに、自転車や歩行者の通行量も多くなっています。しかし、山田交差点から公園通りまでの約1500m区間はカーブが多く見通しも悪いうえに歩道もなく、歩行者や自転車の通行に非常に危険な状態です。よって早期の事業化を望みます。